

# ハイブリットライグラスによる永年草地の生産性向上技術の確立

## 畜産試験場

イタリアンライグラスは1番刈では多収で良質な乾草が収穫できるものの、2番刈以降においては枯死し雑草が侵入しやすく、収量の減少や品質低下がみられる。こうした採草地の全面更新については、費用、労働力が負担となっており、生産現場では具体的な対策に苦慮している。

そこで、超夏性に優れ、秋期の収量が期待できるハイブリットライグラス(ハイフローラ、パーフェスト)を用いた簡易草地更新による、省力・低コストな採草地の生産性向上技術を紹介する。

### 【普及したい技術のポイント】

①イタリアンライグラス優占草地におけるハイブリットライグラスを用いた簡易更新では、除草剤の散布、鎮圧の処理を行うことで全面更新と同程度の収量が得られる。

②簡易更新にかかる費用は完全更新の34.6%、作業時間は23.3%である。

### 【供試品種の特徴】

【ハイフローラ(HF)】イタリアンライグラスとペレニアルライグラスの属間雑種。乾物収量が多く、永続性、超夏性に優れる

【パーフェスト(BF)】ペレニアルライグラスとメドーフェスクの属間雑種。耐寒性が良好で採草、放牧利用に適した品種。

### 【経費と作業時間】

簡易更新による省力・低コスト化は可能であるが、イタリアンライグラス優占草地においては除草剤の散布、鎮圧処理を行う必要がある。

	全面更新	簡易更新 (リノベータ)	割合(%) (簡易更新/全面更新)×100
種子代	39,300	39,300	-
肥料代	54,743	19,200	35.1
薬剤代	149,871	27,750	18.5
人件費	15,480	2,400	15.5
燃料費	602	233	38.7
合計	315,076	82,333	34.6
作業能率	12.9	3.0	23.3

表1 経費と労働時間

注1) 作業能率:時間/ha

### 【収量性の検討】

除草剤処理を行った HF 簡易更新鎮圧区では、2, 3 番草の収量は全面更新と同程度であり、年間 900kg/10a の乾物収量が得られる。

パーフェストは収量でハイフローラに劣る。

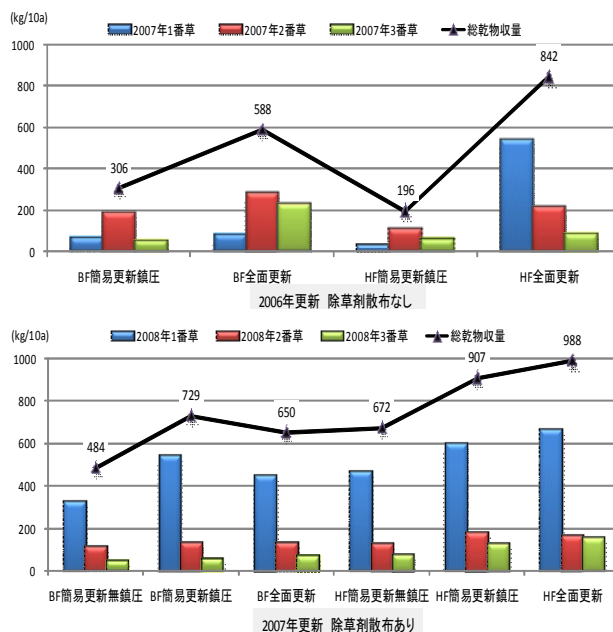


図1 収量性

注1) 除草剤無処理年度(上段)は2008年以降雑草に覆われた。



図2 作溝の状況



図3 H20 10月29日 越夏性の比較写真

注1) ア: HF 全面更新区 イ: BF 簡易更新無鎮圧区 ウ: BF 全面更新区

2) アは HF が維持された。イは全面が雑草に覆われた。ウは一部に雑草の侵入があった。